# 【PMoA 開催レポート】

対話型鑑賞ワークショップ「現代アートのわからないを愉しむ ~ATAMI ART GRANT の作品を観に行こう!~|

## 1. 開催概要

- ・日時 2023年11月23日(木・祝) 11:40~13:40
- ・会場 ACAO SPA & RESORT 「NOT A GALLERY」(静岡県熱海市)
- ・参加者数 22 名+講師2名+運営2名
- ・当日メンバー(企画・運営:関根、工藤 サポート:斉藤、高橋、中西)

## 2. 企画から実施までのこと

・企画のきっかけ

PMoA 立上げにあたって、PMIJ 会員にアートを身近なものにしていただくべく、またコロナ禍後のリアルイベントとして参加者同士の交流をしていただきたく、「対話型鑑賞」を取り入れたワークショップを企画することとなった。

また、ATAMI ART GRANT とのコラボ企画ということで、対話型鑑賞を通じて多様な見方を身につけ「より良い鑑賞者」となった参加者をART GRANT 鑑賞へ導くことで、鑑賞者の質向上に寄与したいと考えた。

・企画のコンセプト

より良い鑑賞者になる。答えのない現代アートの見方と面白さを体験する。

・コラボレーション等

イベント内容企画に際して NPO 法人 芸術資源開発機構(ARDA)様に協力いただき、 講師役も同法人の代表理事である三ツ木紀英氏、桑原和美氏に担当いただいた。

PROJECT ATAMI の伊藤氏、冠氏に会場や各種パンフレット等の手配・準備にご助力いただいた。

#### ・工夫した点

生のアート作品と触れ合える環境と、イベント後にその足で多くの ART GRANT 作品を鑑賞できる会場選びを重視した。

当日会場に展示するアーティストに直接、作風や作品に対する質問を行い、講師との橋渡しを実施した。

講義時は座り、アート鑑賞時は自由に歩けるようにして、会場をめいっぱい使うことで、 リアルイベントの特性(五感で楽しむ)を最大限利用した。

# ・苦労した点

講師費の安さから、コスパ良く企画準備と調整を行うことを求められたため、打合せ回数が極度に少なかった。(計 2 回) 殆どの事柄が、前日に講師と終日過ごす中で決まっていったため、瞬発力とアレンジ力を高く求められた。前日夕方から夜に、モノの準備をする必要があった。(熱海市内を少し知っていた状態だったため、対応できたとも思う。)

# 3. 当日の模様と実施成果

会場について

晴天に恵まれ、会場の強みのひとつである熱海の海を一望できた開放的な空間となった。 当日 PJ ATAMI スタッフの方や ART GRANT ゲストとも適度に交流しつつ、会場の棲 み分けが極端にならないように計らった。

## 講師について

多くの実績を誇る ARDA 三ツ木氏によるファシリテーションに全幅の信頼を寄せ、詳細な内容は把握しないままに当日を迎えた。結果は求めていた通りの内容であり、参加者からの評価も高かった。

#### ・参加者について

男女比は 4:6 で、やや女性の方が多かった。

PMI 会員とその家族での参加も歓迎されたため、家族で楽しんでいただくことができた。また、一般参加の方(アートに元々興味がある方)も参加いただいたことで、プロジェクトマネジメントに限らない意見もでて、よい刺激となっていた。一般参加者がアート鑑賞経験に乏しい PMI 会員をリードしてくれた面もあり、参加者同士の交流が質の高いものとなっていた。

## ・当日の進行について

- ① ウォーミングアップ
- ② ATAMI ART GRANT 作品の鑑賞
- ③ ミニ講座「アートってなに?」
- ④ ATAMI ART GRANT を楽しんで鑑賞するためのヒント

特に②で米澤柊氏の作品鑑賞で意見交換が活発となった。

#### ・当日の学び・参加者コメント

「ワークショップに参加したことで、アートへの印象は変わったか」というアンケート 結果は、加糖者 17 名で全員が「変化した」と答えた。

- ・アートは見る人によって、また、見た時間の長さによって印象が変わってくると いうことが実感できました。
- ・同じアートでも自分で捉えた印象だけでなく、全く異なった視点や捉え方、解釈 ができる楽しみを感じることができ、アートの奥深さを痛感いたしました。
- ・様々な角度から物事をみる面白さを体験できた。
- ・アートとプロジェクトには親和性は無いと思っていましたが、プロジェクトを行うチームを構築する上で、非常に有用なツールであると認識しました。
- ・様々な見方があることを実感した。
- ・そもそものアートの歴史やその時代ごとの役割の変遷を知ることができたのが 大きな学びでした。また、対話型鑑賞をおこなうことで、物事を深く考えるための トレーニングにもなる、企業内の研修にも採用されているところがある、というの がとても納得しました。
- ・元々現代アートは好きで見ていましたが、見方が変わりました。簡易的な美術史も教えていただいたことで、現代アートが何故生まれたのか、立ち位置も理解できてとても良かったです。対話型鑑賞自体も、ものの見方や考え方、自分の感じたことを言語化するのに役立つと感じました。
- ・個人ごとに見ているポイントが違うということを改めて認識しました。また、見 方は自分の感性のままでもよいのだと感じ鑑賞のハードルが少し下がったような 気がします。
- ・現代アートは素通りしていましたが、鑑賞方法を変えることで楽しめる気がしました。
- ・同じ作品でも、見る人の視点によって解釈は違うとものだと思ってはいましたが、 実際他の方々のお話を聞いて、「そこに目をつけたのか」とか「そんな解釈も出来 るのか」と大変面白かったです。 また、Divetsity によって仕事のクオリティを上 げることの重要性を感じました。
- ・美術館は好きなのですが今まではわからない絵の前は正直ほぼ素通りなどしてしまっていました。これからは違った見方ができそうです。
- ・このような観光地での体験型のワークショップの開催を増やしていけると、休日家 族と訪れることができるので良いと思いました。
- ・今回家族で参加させていただき、勉強にもなるしとても楽しい休日を過ごせました。 またこのようなイベントの開催をお待ちしております。
- ・アート系のプロジェクトをマネジメントするのは難しいと感じており、アート×プロジェクトマネジメントの活動、今後も期待しています。
- ・アートとのコラボレーションは新鮮でした。
- ・PMI 日本支部のおかげで海とアートが美しい熱海というところにも初めて行ってみ

て、アートを通して創造的に開かれた考えをする方法を学んだお得な一日だったと思います。

・今回初めてワークショップに参加させて頂きましたが、大変楽しく勉強になりました。 PM とアートの組み合わせ、面白かったです。今後もこのようなワークショップがあれば、ぜひ参加させて頂きたいと思います。

### 4. 今後に向けて

• 担当者所感

企画と準備には、思考と体力と時間を沢山割く必要があったため、業務とのバランスを 取ることが非常に難しかったです。一方で自分が思い描いたイベントを実現していく嬉 しさは実感できて、よい思い出となりました。

・今後も続けていきたいこと

ステークホルダーのメリットが多く実現される企画検討と実現をしていきたい。今回であれば、PMI 会員にとってのメリットとして「ビジネスに持ち帰ることのできる学びと経験ができる」は実現できたと考える。また、PROJECT ATAMI に対しては「一般参加 OK のイベントとする」「ATAMI ART GRANT へより良い鑑賞者を育成して送り込む」は実施できたと考える。こうした、双方のメリットがなければ、協力関係を継続することは難しいと考えるためである。

- ・改善したいこと
  - 一人で企画と準備しない。(したくない)
- ・今後挑戦したいこと 都内で同様イベントの開催。(対話型鑑賞)

<活動写真>











